

空間デザイン学科 カリキュラム・ポリシー

空間デザイン学科のディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下の方針に基づきカリキュラムを編成する。

- 1) 「専門横断科目」および「専門科目」では、デザイン思考に基づく実践的なものづくり、コンピュータリテラシーの強化に関する教育を基礎として、空間デザインまたはプロダクトデザインの専門的な技術・知識を修得する。
- 2) 「専門科目」では、専門領域を以下に掲げる「空間デザイン系」と「プロダクトデザイン系」ならびに両者に共通する「デザイン共通」に区分する。
 - a) 「デザイン共通科目」では、①様々なデザイン活動の基礎となる技術や知識、②デザインにおける条件や制約に対応するために必要となるデザインの各種方法論、③環境・資源問題や、ライフスタイルの変化に即応するものづくりに必要となる知識、技術等を修得する。さらに、デザインの横断的理解により文化とテクノロジーを融合させるデザインの本質的意義と価値を理解する基盤を養成する。
 - b) 「空間デザイン系科目」では、建築の基幹となる科目で建築士を業とする上で求められる知識を体系的に修得し、加えて「デザイン共通科目」からの発展として、空間デザインに特化し、技術、知識、方法論を深める。
 - c) 「プロダクトデザイン系科目」では、マーケティングなど実社会でデザインを創出するための方法やデザイン史等に関する知識を体系的に修得し、加えて「デザイン共通科目」からの発展として、プロダクトデザインに特化し、技術、知識、方法論を高める。
- 3) 「専門横断科目」では、グローバル社会に対応した価値あるデザインを創出するために、利用者や利用環境などを踏まえた技術の適用を実現できるデザイン思考などを養う。
- 4) 「卒業研究」では、学修の集大成として個々の科目で学んだ技術や知識を融合して、実践的な作品制作や論文に取り組み、専門職業人としての基礎と総合的な能力を養う。